

2020 さがえトライアスロンフェスティバル競技規則（パラトライアスロン）

概要	本大会の競技規則は、一部ローカルルールを除き、JTUが定めるトライアスロン競技規則に準ずる。(2019年1月改訂版)		
カテゴリー	TRI1-6の旧カテゴリーを適用する。(2013ITUルール17章) カテゴリーの確定していない選手は、当日競技説明会前に本レースの為にクラシフィケーションを受ける。(当日8:30～艇庫にて)		
競技内容	(バイク・ラン同一コース)		
コース	スイム 0.75km(1周回)	バイク 19.2km(8周回)	ラン 4.8km(2周回)
バイク・ランの走行時はキープレフトを基本とする。コーナー・折返しでの追い越しを禁止する			
制限時間	スイム 45分		総合 150分
ドラフティング	本レースはドラフティング禁止レースである。 ドラフティングエリアは前輪先端より後方10m、 競技カテゴリーを問わず違反は2分(スプリント1分)のタイムペナルティーをペナルティーボックスで受ける。		
ペナルティー	タイムペナルティーは10秒とする。 ペナルティーボックスはランコース上に設置する。(該当選手のレースナンバー掲示) 該当の選手は、自主的にペナルティーボックスに入ること。 悪意の違反危険行為は失格の対象となる。 該当の選手がペナルティーボックスに入らずフィニッシュした場合は失格となる。		
ハンドラー・ガイド	パーソナルハンドラー、ガイドは原則として自己手配とする。 本大会は異性のハンドラーを認める。 大会側はスイムエグジットアシスタント・ハンドラーを用意する。 以下の必要な場合のみ、可能な範囲で実施 1、義肢や他の補助具に関する支援 2、ハンドサイクルや車椅子への乗降の支援 3、ウエットスーツや衣類の脱衣 4、バイクをラックにかける 5、トランジション・ホイールストップでの簡易な自転車の修理		
競技説明会	当日の競技説明会への参加を義務とする。(ガイド・パーソナルハンドラーも同様) 遅刻・欠席は事前にTDへ連絡すること。 その場合トランジション1でタイムペナルティーを受ける。		
バイクチェック	使用するバイクについてトランジション預託時に目視によるバイクチェックを行う。		

2020 さがえトライアスロンフェスティバル競技規則（パラトライアスロン）

ウェア・用具	<p>全選手は大会側提供のスィムキャップを使用すること。</p> <p>ウエットスーツ使用について、JTU 競技規則による(参考 2018 5/27 気温 25.4℃ 水温 22.2℃) 水温 28℃以上着用禁止、水温 18℃以下着用義務。</p> <p>ウエットスーツの使用可否はスタート 1 時間前に 管理棟前公式ボードに掲示する。</p> <p>レースナンバーは、バイク競技は背面、ラン競技は前面につけること。</p> <p>ハンドサイクルはハンドサイクルの背面に貼り付ける。</p> <p>指定箇所へのボディーマーキング及びヘルメットステッカーを貼ること。</p>
計 測	計測用チップを使用する(周回チェック・競技パートタイム・合計タイム・安全管理)
トランジション	<p>トランジションエリアはスィムアップより約 10m の場所に設置される。</p> <p>マウント(乗車)ラインの手前での乗車・ディスマウント(降車)ラインを過ぎての降車には警告と是正をうながす。是正されない場合ペナルティの対象となる。</p> <p>TRI1 選手のマウントライン・ディスマウントラインでの行動、</p> <p>ライン前で完全に止まり、TO の「ゴー」の指示でレースを再開する。</p> <p>バイク競技終了後各自のラックにバイクをかけてからストラップを外すこと。</p>
スィムキャップの種別	<p>赤:スィム出口からトランジションエリアまで持ち上げられて移動する必要がある。</p> <p>黄:スィム出口からトランジションエリアまで歩いたり、</p> <p>走ったりして移動する際に支援が必要である。</p> <p>緑 :スィム出口でいかなる支援も必要ない。</p> <p>白 :ガイドが使用</p>
競技の変更・中止	<p>競技エリアの状態 天候等により競技内容の変更 中止をする場合がある。</p> <p>その場合、その内容を競技 1 時間前に管理棟前公式ボードに掲示する。</p> <p>競技役員は、選手の競技続行が当人の健康を害すると判断する場合には、競技を辞めさせる権限を持つ。</p>

パラトライアスロン競技規則 ■スィム (750m×1 周回)	
コース	スィムは、1 周 750m のコースとする。
スタート	<p>スィムスタートはフローティングスタートを採用する。(カテゴリー毎スタート)</p> <p>全選手はポンツーンに接触している状態でスタートを待つ。</p> <p>その後「オン・ユア・マークス」と発声される。</p> <p>発声後に、スタートの合図としてホーンが鳴らされ選手は競技を開始する。</p> <p>TRI6 :選手はスィム中、自身のガイドと紐でつながれていなければならない。</p>
エード	給水エードをスィムスタート地点(上陸スロープ脇)に設置する

2020 さがえトライアスロンフェスティバル競技規則 (パラトライアスロン)

パラトライアスロン競技規則 ■バイク (2.4km×8 周回)	
コース	バイクは 周回コースを 8 周する 19.2km とする。
基本	キープレフトを基本とし、右側に追い越しエリアを確保する。 斜行等の危険走行、ブロッキングは、ペナルティーの対象とする。 急カーブ箇所 TRI1・TRI6 の選手が止まった場合、スタッフが最低限の補助を行える。 ラン競技コースと重複する箇所では、ラン競技者の右側を配慮の上 追い抜くこと。
周回チェック	周回終了の誘導は行わない。各自で周回数を確認すること。 計測用タイミングチップでの周回確認を行う。
エードステーション	コース上に 3カ所 給水エードを設置する 安全に停止した選手への手渡しのみとする。
ホイールストップ	ホイールストップを 1カ所設置する。 スタート 10 分前までに預託すること、以降競技中の預託は認められない。 大会側で簡易の修理キットを用意する

パラトライアスロン競技規則 ■ラン (2.4km×2 周回)	
コース	ラン競技はバイク競技と同じコースを 2 周回する 4.8km のコースとする
基本	キープレフトを基本とし、右側に追い越しエリアを確保する。 急カーブ箇所・坂道で TRI1 の選手が止まった場合は、 スタッフが最低限の補助を行える。 TRI6 選手はラン中、自身とガイドを紐でつながなければならない。
周回チェック	周回終了の誘導は行わない。各自で周回数を確認すること。 計測用タイミングチップでの周回確認を行う。
エードステーション	コース上に 3カ所 給水エードを設置する。

その他	
用具の運搬	アスリートラウンジで預託したもの、(レースナンバー記入のこと) トランジションで指定のかごに入れたものは、スタッフがリカバリーエリアまで運搬する。 TRI1 選手の移動用車椅子はフィニッシュエリアに運搬する。
会場内の移動	大会側で会場内移動用エンジンカートを用意する。(4 人乗りオープンカート) 必要な場合、大会本部もしくは競技説明会打ち合わせ時に申し出ること。
その他	大会会場内では 刺青(タトゥー)は露出させないように隠すこと。 トランジション・コース・フィニッシュ・リカバリーエリアへの盲導犬の立ち入りを禁止する。